

会 議 録

会 議 の 名 称	マチごとエコタウン所沢構想策定検討委員会 第3回会議
開 催 日 時	平成25年8月29日(木) 10:00~12:00
開 催 場 所	市庁舎 低層棟3階 全員協議会室
出 席 者 の 氏 名	田中 充 秋元 智子 北川 洋 内田 勉 鈴木 進 佐藤 八郎 茅岡 日佐雄 山本 啓一郎 初野 浩孝 阪 秀二 金子 圭 山下 恒夫 山野 均 針谷 さゆり 古田 公人
欠 席 者 の 氏 名	無し
議 題	1. 開会 2. 議事 (1)第2回検討委員会の振り返り (2)マチごとエコタウン所沢構想の策定について 施策の展開について 3. 閉会
会 議 資 料	(1)次第 (2)資料3-1 前回会議でいただいた意見とその対応(当日差し替え) (3)資料3-2 マチごとエコタウン所沢構想(素々案) (4)参考資料1 構想策定スケジュール変更(案) (5)参考資料2 環境フォーラム開催概要(案) (6)追加資料 施策体系図
担 当 部 課 名	環境クリーン部 部 長 桑原 茂 次 長 増田 謙二 環境総務課 課 長 大館 真哉 主 幹 並木 和人 副主幹 内野 孝雄 主 任 谷口 周 主 事 鈴 亮祐 みどり自然課 課 長 関谷 佳和 資源循環推進課 課 長 大野 義彦 環境クリーン部環境総務課 電話 04-2998-9133

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
会長	開会 あいさつ
事務局	議題(1)「第 2 回検討委員会の振り返り」について、資料 3-1 に基づき説明した。 議題(2)「施策の展開」について、資料 3-2、追加資料に基づき説明した。
委員	質疑応答 市民の幸せ、幸福につながるようなものがない。市民の生活がどう変わるのか、市民が幸せになるというような内容を市長あいさつ文に入れるべきではないか。この構想が策定された結果、どうなるか、この構想の必要性をはじめに記したほうがよい。
委員	生態学（エコロジー）では主体と環境との関わりを扱っている。それと同様に、心の中と環境との関わりが大切であり、色、花などのアメニティも重要である。所沢のまちを愛してるからこそ、市民の間の絆もできる。そのような議論がないと楽しくなっていない。
委員	心の豊かさを求めていくのが本構想の最終目標であると考えてるので、そういったものを前面に出せればよいのではないかと。また、コンポストの取り組みは、細々と実施されているが循環がうまくいかないとのことである。航空公園内のレストランでコンポストを設置し、残飯を利用した堆肥を農家で使用し、そこで育った農作物をレストランで出すという循環ができればと考えている。
委員	この構想のメッセージは何か。市長の公約・考えを市長の言葉で書いてほしい。
委員	所沢市の人口 34 万人を維持すると「所沢市まちづくり基本方針」改定の概要」では記載している。一方、この構想の基礎調査報告書では、公共施設マネジメント白書からの引用で 2 万人減の見込みと記載されていた。整合を図る必要があるのではないかと。
委員	経済とのバランスが必要ではないか。資源循環の取り組みでエコショップを設けたり、環境に配慮したものを購入する「グリーンコンシューマー」と、環境に配慮した商品を販売する店舗を増やすなど、経済に関する取り組みも行うと良いのではないかと。
委員	省エネの記述を厚くしたほうが良いのではないかと。省エネ行動が

	<p>市民の意識を変化させる。</p> <p>また、市庁舎、市の施設においてエコ化の率先垂範が必要であり、商店街での省エネ・創エネの取り組みをエコポイントに関連づけ、地域経済活性化の取り組みモデルを作ることができるが良い。</p> <p>「施策の概要」を「詳細解説」のなかで記載しているが、この内容は構想の本章に掲載すべきではないか。</p> <p>この構想の取り組みを進めることによる将来像を書いてほしい。例えば、世の中では、地産地消、エネルギー自給などが言われている。</p>
委員	<p>この構想が何を指すのかが見えない。</p> <p>鉄道も所沢と横浜が直通運転になり、横浜から人を呼びたいがすぐにはそうはなっていない。一方で所沢に求められているのは安全で暮らしやすいマチなのではないか。交通事故ゼロ、犯罪ゼロのまちを求めていくべきではないか。商店街の空き店舗の活用方策も課題である。</p>
会長	<p>本構想の位置づけは、マチの環境ビジョンを示すものだと理解している。環境基本計画の行動計画とするなかで、構想案が環境の枠を超えるのは難しい。</p>
委員	<p>環境が自然環境に偏りすぎている。生活環境についても記述すべきである。</p>
事務局	<p>本構想は 3.11 を受けて、エネルギーの自立化、ライフスタイルの転換を目指しています。構想の構成はメリハリをつけるために変更をしました。</p>
会長	<p>7,8 ページに本構想の目指すべき姿が描いてある。</p>
委員	<p>エネルギーのみに関する構想をつくってはどうか。みどり、資源、エネルギーと取り込みすぎではないか。</p>
会長	<p>これまで議論してきた基本的な構想策定の方針が変わってしまうことから、ご意見の反映は困難と考える。</p>
委員	<p>14,15 ページの取り組みの実施期間及び関連主体の表において、「 」の印の意味についての記述がない。</p>
事務局	<p>「 」は取組の中で関わってくる関係主体で、「 」は推進主体となっています。「 」と「 」の区別がつくよう凡例の記載を修正します。</p>
委員	<p>24 ページについて、工務店、担い手の育成が大切であると考えするため、それをプログラムに取り入れるべき。今後、省エネ法の改正</p>

	<p>もあることから、工務店の育成の記述が必要ではないか。 36 ページについて、薪市場をやるという提案がある。実施するプログラムを民間に募集してみてもどうか。</p> <p>28 ページについて、グリーンアッププロジェクトで、「所沢のみどり」について触れられているが、所沢は首都圏から見た森の窓口であることに着目し、保育園、小中学校を木質化するなど、長期的に奥武蔵の木を使っていくことで、子供と森のつながりをつくっていく取り組みを追加したらどうか。</p>
事務局	<p>エネルギー、みどり、資源循環の3つを繋ぐ人づくりが必要だと考えています。また、学校の木質化については既に採り入れています。</p>
委員	<p>私が子どもの頃と比べてみどりが少なくなっている。昔は雑木林に生えているキノコを使いうどんを食べた。みどりをどのような目的で、どのくらい増やすのかという記述がない。</p>
委員	<p>いきものふれあいの里センターでは学校向けに体験学習を行っていることから、36 ページ重点事業7の評価指標の目標値は少ないのではないかと。 また、エコポイントの実施を前面に押し出してほしい。</p>
委員	<p>「まちごとエコポイント」の取り組みは、第1ステップの取り組みに位置づけを変えて進めて欲しい。</p>
委員	<p>郊外ではなく、まちの中心部のみどりが問題だと思っている。クールスポットのような場所をまちの中につくるべきである。身近な公園のみどりを増やしたり、塀を生垣にする取り組みなどはどうか。 また、公園で発生する剪定枝はどういった処理をしているのか。</p>
委員	<p>エネルギーの重点事業にメガソーラーを挙げているが、まち全体に取り組みを普及させる意味では、住宅における取り組みにスポットを当てるべきではないか。太陽光発電を入れた家庭は省電力の取り組みも行う。 経済産業省は来年度住宅用太陽光発電の予算を確保していない。</p>
事務局	<p>「みどりの保全」については里山、雑木林の保全を指している。まちの中のみどりについてはみどりの基本計画にも定めており、パブリックガーデン等により順次取り組みを進めていきたいと考えています。 剪定枝について、現状ではクリーンセンターで焼却していますが、バイオマス利用をみどりの基本計画で考えています。 生垣の支援に関して、現状あるものについては「ふるさとの木」として指定をし、支援していくことを考えています。新しく生垣を作</p>

	<p>る場合の支援制度については、過去に行っていましたが、引き合いが少なく現在は行っていません。</p> <p>省エネ機器の普及のための補助は来年度の実施を考えています。</p>
委員	<p>所沢的都会田舎(とかいなか)ライフスタイルプログラムについて、例えば、薪市場の取り組みのように、既に市民が様々な活動を行っていたり、アイデアを持っていたりするので、プログラム内容を募集し、行政はそれを手助けする形にしたらどうか。</p>
委員	<p>市民の意識の変化で変えられるものがある。例えば、補助金を受ける際に構想にコミットするというような誓約の署名をいただいてはどうか。それによって意識が向上すると思う。</p>
委員	<p>太陽光発電について、見積依頼は多く受けるが、予算がないという理由で実現しないケースが多いので、補助金を充実させてほしい。</p>
委員	<p>市民へのメッセージが必要である。なぜ所沢でエコをやるのかという上位概念を記してほしい。私は、「誇り」が重要だと思っている。世界で最も発達しているのが所沢なのだと書いた誇りである。それによってそれぞれの施策を行う意味合いも出てくる。</p>
委員	<p>それぞれの施策をやる意味合いが必要である。</p>
委員	<p>7 ページについて、重点事業の目標数値は十分なものなのか。目標値の根拠づけを載せるべき。</p>
委員	<p>「埼玉県狭山丘陵いきものふれあいの里センター」では7～8校の小学4年生の生徒のカリキュラムで年間3500人が参加している。「所沢的都会田舎(とかいなか)ライフスタイルプログラム」の目標が10回で300人となっているのは少ないのではないか。</p>
委員	<p>省エネの記述を厚くしたほうがよいのではないか。省エネの方が全体的な効果が大きい。そのように行動を変えることが次の持続可能性につながる。</p>
会長	<p>構想本体は厚いものではないほうが良いと思う。読みやすさが大切である。明確・明快な文章で、メッセージ性が強く、位置づけ、意味づけがされていることが大切である。</p> <p>資源循環の重点事業が一つしかなく、リーディングプロジェクトのバランスが悪い。ごみのエネルギー化、堆肥化などを記載してはどうか。</p> <p>目標の値の「GTE」などの指標の意義がわからない。市民目線で記すべきである。また、カタカナや横文字が多い。市民の視点に合わせてひらがな、漢字で書くべきである。</p>

委員	<p>事業者育成の目線は必要である。</p> <p>用語解説集ができるにせよ、用語の整理はしてほしい。</p>
事務局	<p>(3)その他 として、構想策定スケジュール及び環境フォーラムの開催について、参考資料 1、参考資料 2 に基づき説明した。</p>
事務局	<p>第 4 回会議は 10 月 10 日（木）13 時 30 分からとし、別途開催通知を送付することとした。</p>
市長	<p>「マチごとエコタウン」という言葉は、県議時代に「太陽光発電の補助を実施し、地域全体での普及を図ってはどうか」と、知事への質問を行う際に作った。震災を受け、知事の公約にもなった。</p> <p>そういったいきさつで作ったこの言葉は、私の公約でもある。環境においては、「防御は最大の攻撃」であると考えている。電力の省エネを図るには、技術開発による自然エネルギーの導入より、市民一人ひとりが省エネ行動を実践するほうが効果的である。このため、もう一度自分たちの生活を見直すことが必要であると考えてきたが、この考えは震災により確信に変わった。</p> <p>私は、教員だったので、子どものために市長となった。子どもは、人間本来の幸せを知っている。母親と一緒にいることが幸せ、砂場で友達と遊ぶことが幸せである。大人になるにつれ、幸せはお金がないと掴めない世の中になっている。先進国は、子どもではなく、大人のための楽園を追及している。便利化競争ではない生き方を模索してはどうか。そうでないと、未来の子どもたちが元気に過ごせない。</p> <p>所沢では、ホテルやミヤコタナゴを復活させ、川をきれいにしようと活動する人がいる。まだ川にこれらの生き物が生息していた頃をよく知る人が、将来の子どものために頑張り始めたのだと認識している。</p> <p>本構想の策定にあたり、委員の選出から関与し、各分野の実践者を選出したと考えている。それぞれの分野で実践してきたことをぶつけてほしい。私自身、この検討委員会は非常に大切なものであると考えている。</p> <p>現在、市で推進している計画は、全て震災前に策定したものである。2 年が経過したことで、日本人が忘れ始めている東日本大震災を忘れないため、「想い」を反映した初めての計画として、本構想を策定する。そんな気持ちを込めて、皆さんの経験を検討委員会の中でお出しただければ幸せである。</p>
事務局	<p>閉会</p> <p style="text-align: right;">以上</p>